

筑豊小児科医会会報

Vol.200 2023.9



Contents

- ◇ 今月のトピックス（臨床心理室のご紹介 臨床心理士/公認心理師 竹下明子）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2023年6月》
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）
- ◇ 外来診療担当表

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス(臨床心理室のご紹介 臨床心理士/公認心理師 竹下明子)

● 私たちの使命・モットー

「子どもたちの育ちを支える」をモットーに、臨床心理室では小児への支援に多く携わっています。

子どもたちが、より健やかに、自分らしくすごせるようになることを願い、遊戯療法などの心理面接や発達検査、NICUでのご家族への関わりに力を注いでいます。



● 院内連携や地域連携

背景が複雑な場合や、特に配慮が必要な事例においては、主治医と心理士、ソーシャルワーカー等の院内多職種、学校やフリースクールの先生方とケース会議を実施しています。

症状や不登校の背景には、マルトリートメントや家族の体調不良が存在することも多く、行政や精神科等ご家族の主治医の先生を含めた連携も行っています。お子さんだけでなく、家族全体を抱える環境をいかに作るか、だと思えます。

こうした連携は特別なことではありませんが、地道な継続が重要だと考えています。どのような関わりが有効なのか、様々な立場の人々が顔を合わせ、一人一人のお子さんや家族の状況に思いを馳せながら検討する。その過程を丁寧に重ねることが、次の展開につながると思います。

今後も地域の先生方と手を取りあい、より質の高い支援を目指し努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

飯塚病院 臨床心理室

- ・常勤8名の臨床心理士/公認心理師(取得見込1名)が在籍。
- ・全診療科から年間約3500件の依頼に対応。
- ・カウンセリングや心理検査の他、身体疾患で入院中の方への心理サポート等、チーム医療の一翼を担う。

研修医のご紹介

● 初期研修医 2年目 ^{さとう}佐藤 ひかる

こんにちは 研修医2年目の佐藤ひかると申します。

出身は飯塚で大学では長崎に行っていました。昨年からは福岡に戻り、飯塚病院で初期研修を行っています。将来は小児科に進みたいと考えており、1年目のローテーションでは小児科を回らせていただき、今回はNICUで学ばせていただきます。

未熟な点も多くご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。



● 初期研修医 1年目 ^{おぐらはたゆうや}小倉畑 雄也

はじめまして。初期研修医1年目の小倉畑雄也と申します。

大阪→山口→長崎→熊本→福岡と転々と生活拠点を移して、はじめての福岡生活です。今回、6週間の小児科ローテということで小児特有の疾患や診察方法、親御さんとの接し方等について学んでいけたらと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



● 初期研修医 1年目 たしまともひろ 田島知宙

初期研修医1年目の田島知宙と申します。熊本県出身で大学は久留米大学を卒業しました。小児科では小児特有の疾患や診察、病棟での管理など習得するべきものが数多くあると思います。日々の研修で学び、習得して、患者さんに安心して頂けるような医師になれるよう努力して参ります。

至らぬ点も多いと思いますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。



AI-CAP 通信

こども・若者育成支援

こども家庭庁は、こども・若者の育成支援にあたって、教育、福祉、保健、医療、雇用など様々な分野の施策について、総合的な取組を行っています。

まずは、「子ども・若者育成支援推進法」制定の背景に触れたいと存じます。

- (1) 児童虐待、いじめ、少年による重大事件の発生、有害情報の氾濫など、子ども・若者をめぐる環境の悪化
- (2) 若年無業者やひきこもり、不登校、発達障害等の精神疾患など、子ども・若者の抱える問題の深刻化
- (3) 従来の個別分野における縦割りの対応では限界

子ども・若者育成支援推進法が平成22（2010）年4月に施行され、10年以上が経過しました。第3次となる「子ども・若者育成支援推進大綱」では、どのような問題点があげられているのでしょうか。

社会全体の状況（子ども・若者の健全育成に関連する主な社会課題）

- ① 生命・安全の危機
- ② 孤独・孤立の顕在化
- ③ 低い Well-being
- ④ 格差拡大への懸念
- ⑤ SDGs(持続可能な開発目標)の推進
- ⑥ 多様性と包摂性ある社会の形成(ダイバーシティ&インクルージョン)
- ⑦ リアルな体験の充実とデジタル・トランスフォーメーション(DX)の両面展開
- ⑧ 成年年齢の引下げ
- ⑨ 人権・権利の保障
- ⑩ ポストコロナ時代における国家・社会の形成者としての子ども・若者の育成

次世代を担う子ども・若者の育成支援を社会総掛かりで推進していくためには、子ども・若者を取り巻く状況をしっかりと認識することが不可欠です。最後に、大綱に示された今後のビジョンを共有できれば幸いです。

～全ての子ども・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指して～

小児虐待防止委員会 委員長 田中 祥一郎

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

小児科関連勉強会のご案内

■ 第 349 回 筑豊小児科医会勉強会

●日 時：2023年9月21日（木）19：00～20：20

●形 式：ハイブリッド開催

●会 場：のがみプレジデントホテル2階

一般講演 19：00～19：20

「19歳まで非内分泌専門医でフォローされていた FGF 関連低リン血症性くる病の男性例」

飯塚病院 小児科 田中 ゆかり

特別講演 19：20～20：20

「希少疾患治療の進歩～今知っておきたい、低リン血症性くる病のケア～」

福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科学講座 講師 高土 祐一 先生

* Web で参加ご希望の方は事前登録が必要です。詳細は案内状をご確認ください。

■ 第 350 回 筑豊小児科医会勉強会

●日 時：2023年10月26日（木）18：30～20：00

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2023年6月》

●入院患者数 162人 ●外来患者数 1,142人 ●救命救急センター受診者数 287人

●新生児センター入院患者数 8人 ●分娩件数 22件 ●手術件数 6件

●主要疾患数（退院患者数：142人）

肺炎・気管支炎	35	痙攣及びてんかん	14	低出生体重児	8
急性胃腸炎	7	急性上気道感染症	7	喘息	5
新生児呼吸障害・心血管障害	5	腸重積・腸閉塞	3	高ビリルビン血症及び黄疸	1
その他	57				

●6月紹介件数

小児科：185件			小児外科：14件		
①	宮嶋医院	12	①	こどもクリニックもりた	3
②	飯塚急患センター	10	②	くわの内科・小児科医院	2
③	いづかこども診療所	8	③	嘉麻市役所 子育て支援課 母子保健係	1
	栗原小児科内科クリニック			嘉麻赤十字病院	
	まつなり医院			大任町役場 住民課 衛生係	
⑥	こどもクリニックもりた	7		ささきこどもクリニック	他4件
	ささきこどもクリニック			田川市立病院	

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

国民的なスポーツ選手による子ども連れ去り事件の報道がありました。彼女には法的な手続きに従って欲しいばかりですが、彼女の過去や生い立ちを思うと複雑な気持ちになります。彼女は物心ついた頃から競技漬けの環境で育ち、他の選択肢を選ばずに世界中に連れて行かれた少女でした。愛着対象の親が厳しいコーチという一歩間違えるとマルトリートメントにも似た親子関係のもとで育ったかもしれません。幼い頃から泣く姿がマスコミに取り上げられていましたが、成長しても試合中に感情をあらわにしていた印象があります。

愛着を形成する乳幼児期に養育者が愛着対象として十分に機能しないと、成長しても感情が調整できずにトラブルを起こしたり、信頼関係の構築に必要な心や自律神経系の安定が育まれずに孤立したりしやすいと言われていています。また、危機的な出来事が起きた時、人はあらゆる対人スキルを動員して問題解決に努めますが、ダメな時は闘争、ないし逃走します。焦る気持ちを抑えつつ、対人スキルを総動員するために必要なのはストレスへの粘り強さ（レジリエンス）です。そのレジリエンスは愛着形成の過程で育まれるのです。今回、彼女にとって危機的な状況が起きましたが、レジリエンスが不足していた彼女は対処しきれずに闘争し、逃走してしまいました。

今回の件は、一人の少女をもてはやし、健やかな成長の機会を削ぎ、壮絶なプレッシャーを与え続けた私達にも責任の一端があると思っています。スポーツに限らず、自分の選択を十分に言語化できない幼い頃から一つの事に固執させることには弊害が伴い思うのです。しかし、それでは野球一筋の大谷翔平はなぜあんなにレジリエンスが高いのでしょうか。おそらくそれはあの有名な卒業文集に代表されるように、彼が幼い頃から自分の意見を述べ、それを周りが聴いてくれる環境で育ったおかげなのではないでしょうか。本当に恵まれた環境です。星飛雄馬より大谷翔平なのです。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介



外来診療担当表（○初診、●再診）2023年8月1日現在

一般外来：予約・紹介状必要		月	火	水	木	金
小児科	岡松由記(小児科部長)	AM●		AM●		AM●
	神田 洋	AM○/●				
	大矢崇志		AM○/●			
	坂口万里江			PM○/●	AM● PM○/●	AM○/●
	廣瀬 彰子			○/●		
	田中祥一郎		○/●		AM○/●	
	田中ゆかり			AM○/●		AM○/●
	荒木潤一郎	AM○/●				
	吉田愛梨	PM○/●				
	田中友規					PM○/●
	山下哲夫		○/● または山木			
	山木勇人		○/● または山下			
小児外科	亀田恭介(小児外科部長)	○/●	手術	○/●	手術	○/●
	春野覚史	○/●		○/●		○/●
専門外来：予約・紹介状必要						
新生児	神田 洋		PM○/●			
神経発達	近藤里香子	○/●			○/●	
	大矢崇志	○/●			○/●	
循環器	寺町陽三		PM○/●			
	平田悠一郎			PM○/● (第2,4)		
内分泌	八ツ賀秀一					○/● (第1または第2)
	古賀木綿子			○/● (第2)		
	西岡淳子					○/● (第4)
腎臓	荒木潤一郎		AM○/●			○/● (第3)
血液内科	安藤昭和					PM○/● (不定期：第4)
アレルギー	田中祥一郎			○/●		
1ヶ月健診（金曜午後）						PM